

「ノスタルジー」は単なる過去への感傷ではありません。心理学研究によれば、懐かしい記憶は自己肯定感を高め、他者への共感力を増し、将来への希望を育む効果もあるそうです。過去の温かい感情によって現在の困難を乗り越えることができ、未来を前向きに想像するエネルギーにもなる。心の働きは奥深いものですね。

知っここ! 「税」のマメ知識

今月のマメ知識：【夫婦間で贈与税がかからないケースとは？】

「結婚して 30 年以上が経ち、住まいの建て替えを検討しています。資金は私の退職金を充てる予定ですが、建物の所有権登記では妻にも 2000 万円程度の持分を持たせたいと考えています。このような場合に贈与税はどうなるのでしょうか？」という質問がありました。この場合は「贈与税の配偶者控除」という特例を利用すれば贈与税はかかりません。これは婚姻期間が 20 年以上の夫婦間で、居住用不動産や居住用不動産を取得するための金銭の贈与があった場合、基礎控除 110 万円に加えて最大 2000 万円まで控除できる制度です。ただし、同じ配偶者間で一生に一度しか利用できません。また日本国内の居住用不動産が対象で、投資用や別荘、海外の不動産には適用できません。なお贈与税はかかりませんが、不動産取得税や登録免許税は発生します。さらに建物の持分割合によっては、相続時の小規模宅地等の特例や、譲渡時の居住用財産の 3000 万円特別控除等を利用する際の適用要件に影響するので注意が必要です。



光を放つ 名言コラム

【一番大事なのは毎日の歯磨き】

「一番大事なのは毎日の歯磨きですから」。通っている歯科医院で歯科医の声が仕切りの向こうから聞こえてきました。話の相手の患者は、歯のクリーニングを終えたばかりのようでした。歯医者で定期的にきれいにすれば虫歯にならないわけではない、自分でしっかり磨いて、ということです。磨き残しをプロに丹念に掃除してもらえば安心ですが、施術は数カ月に一度程度。毎日、物を食べる以上、自分の歯は自分で面倒を見る必要があります。今はいろいろなことにプロがいて、お金を払えば高品質のサービスが受けられます。自分でできないこと、できないときには助かりますし、正しい知識も得られます。一方で毎日、利用するのは難しい。少しずつでも自力でやれば成果は着実にあります。掃除や片付けなどもそうでしょう。大変ですが、メリハリをつけつつ、適度・適当に対処していくことで、生活力がついていきます。

世界の偉人伝

今月の偉人：【ヴィクトル・ユゴー】

ヴィクトル・ユゴーは 19 世紀のフランスを代表する文豪、政治家です。フランス東部ブザンソンで軍人の家庭に生まれ、各地を転々としします。若い頃から小説を書いて文学的才能を発揮しました。政治家として社会改革の実現に寄与し、人間の尊厳や社会正義をテーマとする小説『レ・ミゼラブル』を書き上げると、今では世界中が知る傑作となりました。約 20 年間の亡命生活を経て帰国し、死後は国葬で弔われました。「生きている者とは、闘っている者だ」を体現した、偉大な人生でした。

知得する知恵袋
輪ゴムの知恵袋。液だれしやすいボトルの口に輪ゴムを巻けば液だれ防止に。S 字フックの先に何重か巻けば、掛け物が滑り落ちるのを防げます。開いたままにしておきたいレシ本や参考書に輪ゴムを挟めば、ページが勝手に閉じたり風でめくれたりを防げます。

才人の言葉

あなたができると思えば
できる
できないと思えばできない

アメリカの自動車会社フォード・モーターの創設者であるヘンリー・フォードの言葉。周囲の評価や意見に惑わされることはない。自分の可能性を信じて生きよう。

振り向けばあそこにもここにも 商売のヒント

今月の商売のヒント：【問いを変えると景色が変わる】

先日のこと、コンビニで「糖質オフ」「脂質オフ」「塩分控えめ」のお弁当を手に取りながら、ふと疑問が湧きました。健康を気にするあまり、本質的なことを見失っていないだろうか？これは経営にも通じる話だと思いました。マネジメントの父と呼ばれたドラッカーの名言に「重要なのは正しい答えを見つけるのではなく、正しい問いを探すことだ」があります。例えば「売り上げを伸ばすにはどうするか？」と考え、答えを探すことは大事です。けれどその前に「何のために売り上げを伸ばすのか？」という問いを立てるべきかもしれません。知人の社長は「求人広告の出し方」で悩み続けていました。でも本当の問いは「どんな人と働きたいか？」だったと気づき、会社のビジョンを言語化した途端、自然と共感する応募者が集まるようになったそうです。かつてスティーブ・ジョブズが「この製品は何ができるか？」ではなく「人々の生活をどのように変えるか？」と問いを立てたように、問いを変えるだけで物事の質が変わるのです。話は冒頭に戻りますが、コンビニで最終的に私が選んだのは、糖質オフでも脂質オフでも塩分控えめでもない、普通の鮭弁当でした。



「午後からもうひと踏ん張りするには何を食べたらいいか？」と自分に問いかけた結果「好きなものを食べよう！」と思ったからです。健康でいることも大事。けれど「何を大事にしたいのか？」という問いを持つことのほうがもっと大事だと気づきました。間違った問いへの正しい答えは、どれほど完璧でもまったく役に立ちません。正しい問いは、素晴らしい経営スキルといえそうですね。



今月のトピック：【泊食分離】

宿泊と食事を別立てにする「泊食分離」の宿泊施設が好評です。個人旅行やインバウンドの増加で需要が多様化し、素泊まりや夕食の自由な選択を楽しむ人が増えています。一泊二食が基本の温泉宿も、人手不足の解消や連泊客の増加のメリットは見逃せません。地域飲食店が活性化して賑わう温泉街も現れ、地方創生の成功例として注目です。



トナリの本棚

【鏡面のエリクサー】

知念実希人が描く医療ミステリー。アニメやドラマ化された「天久鷹央の推理カルテシリーズ」の新刊で、人気シリーズならではの魅力が凝縮された一冊です。



元氣と氣づきを提供する 東京都豊島区池袋の佐藤茂税理士事務所

豊島区池袋 2-60-7 ルート池袋第3ビル4階

電話：03-3988-8820 FAX：03-3988-8824

<http://www.satousigeru.jp>